

令和 6 年度

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会・関連する学会における
「ダイバーシティ・男女共同参画」に関するアンケート調査

令和 6 年 12 月～令和 7 年 2 月実施

令和 7 年 4 月発行

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総務部
ダイバーシティ・働き方改革委員会

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総務部

ダイバーシティ・働き方改革委員会

担当理事 松浦 一登

委員長 森田 由香

委員 小川 武則

高橋 剛史

藤田 岳

丸山 裕美子

目 次

I. 令和 6 年度日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会・関連する学会における「ダイバーシテ ィ・男女共同参画」に関するアンケート調査結果の解説	4
II. 調査結果	
1. 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会と関連する学会の医師会員数，女性医師比率の推移	7
2. 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会と関連する学会における役員数と女性比率	8
3. 役員選出に関する、クォーター制（割当制）等の女性医師登用へのポジティブア クシヨンの有無	9
4. 学会総会・学術集会における女性登用の推移～指定演者	10
5. 学会総会・学術集会における女性登用の推移～座長	11
6. 学会総会・学術集会における託児所設置の有無	12
7. 女性医師支援や男女共同参画推進に関する内部組織やアクションプラン	12
8. ダイバーシティに関する工夫	13
9. 働き方改革に関する工夫.....	14
10. 学会専門資格について	15
III. 依頼文とアンケート内容.....	16

I. 令和 6 年度日本・関連する学会における「ダイバーシティ・男女共同参画」に関するアンケート調査結果の解説

ダイバーシティ・働き方改革委員会
担当理事 松浦 一登
委員長 森田 由香

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会は、平成 26 年（2014 年）度より総務部に「男女共同参画委員会」を設置し、男女共同参画へ向けての積極的な取り組みを行っている。男女共同参画委員会では、平成 26 年、28 年、30 年、令和 2 年、4 年度に日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会と関連する学会へのアンケート調査を行い、これらにおける女性医師数と、指導的地位への登用の割合、基盤整備の状況を調査している。令和 6 年度に「男女共同参画委員会」は「ダイバーシティ・働き方改革委員会」と改称し、性別を含めた多様性の理解・働きやすい仕組みを目指した活動を継続することとなった。本委員会において第 6 回目の「ダイバーシティ・男女共同参画」に関するアンケート調査を行った。概略は以下の通りである。

II. 調査結果

1. 対象・調査方法

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会ならびに関連する 15 学会、計 16 学会の事務局へ、令和 6 年 12 月から令和 7 年 2 月に電子メールにて Google forms でのアンケート調査をおこない、回答を得た。回答率は 100%であった。

2. 調査結果と分析

・ 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会と関連する学会会員の女性医師比率（調査結果 II-1）

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会の女性比率は、耳鼻咽喉科頭頸部外科医の女性比率を直接反映するもので、令和 6 年は 25.2%である。16 学会における女性学会員の平均比率は、平成 26 年は 17.9%、平成 28 年は 18.7%、平成 30 年 18.8%、令和 2 年 20.0%、令和 4 年 22.1%、令和 6 年 22.8%と増加傾向を示していた。令和 6 年度の調査において、日本の耳鼻咽喉科頭頸部外科医師における女性比率に達していないものの、過去 6 回の調査のうち過去最高値であることが確認された。

・ 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会と関連する学会における役員数と女性比率（調査結果 II-2）

今回令和 6 年度の調査で得られた女性役員比率は平均 8.3%であり、平成 26 年度 4.1%、平成 28 年度 4.9%、平成 30 年度 3.8%、令和 2 年度 5.0%、令和 4 年度 7.3%と全体的に徐々に増加傾向にあり今回の調査では過去最高の比率であった。しかしながら女性医師の指導的地位への参画は未だ十分とは言えない状況である。

- ・ 役員選出における女性登用へのポジティブアクション（調査結果 II-3）

16 学会中、ポジティブアクション「あり」との回答は平成 28 年と平成 30 年は 0%、令和 2 年 11.8%、令和 4 年 31.3%であり、今回令和 6 年の第 6 回アンケートでは 43.8%と増加していた。「女性理事枠の設置」が 5 学会でなされ、「クォーター制の導入、委員会への女性委員の積極的な登用」「女性が極端に少なくならないように配慮する」「将来の役員候補となる女性会員の増やすよう努力する」などのコメントが認められた。しかしながら、前述の如く令和 6 年における耳鼻咽喉科頭頸部外科医に占める女性医師の割合が 25.2%である一方で、16 学会において学会役員に占める女性医師の割合は平均 8.3%と大きな開きが認められた。

- ・ 学会総会・学術集会の指定演者・座長への女性登用比率（調査結果 II-4, II-5）

学会総会・学術集会におけるシンポジウムやパネルディスカッションなど指定演者における女性登用比率は平均で令和 6 年度が 15.9%であり、平成 26 年 10.0%、平成 28 年 9.5%、平成 30 年 11.6%、令和 2 年 11.4%、令和 4 年 19.7%であり、全体的には増加傾向であるものの、前回令和 4 年の調査に比較しその値は低下していた。以後の経過の確認が必要と考えられる。また座長については今回 8.2%であり、平成 26 年 6.5%、平成 28 年 5.3%、平成 30 年 6.0%、令和 2 年 7.1%、令和 4 年 7.2%と増加傾向にあるなか今回最高値に達した。しかしながら指定演者および座長への登用比率（15.9%、8.2%）は耳鼻咽喉科頭頸部外科医師中の女性医師比率や 16 学会会員内の女性医師比率（25.2%、22.8%）と比較し今なお大きな開きがあることが確認された。女性医師の更なる活躍と、これに伴う指定演者や座長への登用の向上が望まれる。

- ・ 学会総会・学術集会における託児所設置（調査結果 II-6）

学会総会・学術集会における託児所設置率は、平成 26 年 41.2%、平成 28 年 64.7%、平成 30 年 76.5%、令和 2 年 82.4%、令和 4 年は 56.3%であり、今回は 62.5%であった。令和 4 年度の調査の際には、新型コロナウイルス感染症拡大に伴うウェブ学会併用など学会開催形式の変化など、社会的背景の影響が考えられた。令和 6 年は前回に比較し微増していた。

- ・ 学会内における男女共同参画推進に関するアクションプランの有無（調査結果 II-7）

16 学会中アクションプラン「あり」との回答は平成 26 年 17.6%、平成 28 年 35.3%、平成 30 年 29.4%、令和 2 年 58.8%、令和 4 年は 50.0%であり、令和 6 年は 62.5%と増加傾向であり、「なし」が 18.8%、「検討中」が同じく 18.8%であった。基盤整備は進みつつあるが、さらに充実することが望まれる。

- ・ ダイバーシティ（性別や価値観などの多様性の共存）に関する工夫（調査結果 II-8）

令和 6 年度新規質問事項として、ダイバーシティに関する学会での工夫について問うたところ、16 学会中 50%で有り、18.8%で検討中、31.3%で無しの結果を得た。回答例の一部抜粋を示す。

- ・ 働き方改革に関する工夫（調査結果 II-9）

令和 6 年度新規質問事項として、働き方改革に関する学会での工夫について問うたところ、16 学会中 25.0%で有り、18.8%で検討中、56.3%で無しの結果を得た。回答例の一部抜粋を示す。

・ 学会専門資格について（調査結果 II-10）

令和 6 年度新規質問事項として、各学会の専門資格の有無について、また有りの場合の専門資格の名称と資格取得者の人数およびその中の女性の人数を問うたところ、9 学会（56%）より専門資格ありとの回答を得た。資格取得医師の延べ人数は 17,950 名であり、このうちの女性は 4,051 名（22.6%）であることが確認された。

以上、平成 26 年（2012 年）より 11 年間における第 6 回目までの調査結果を御報告致します。

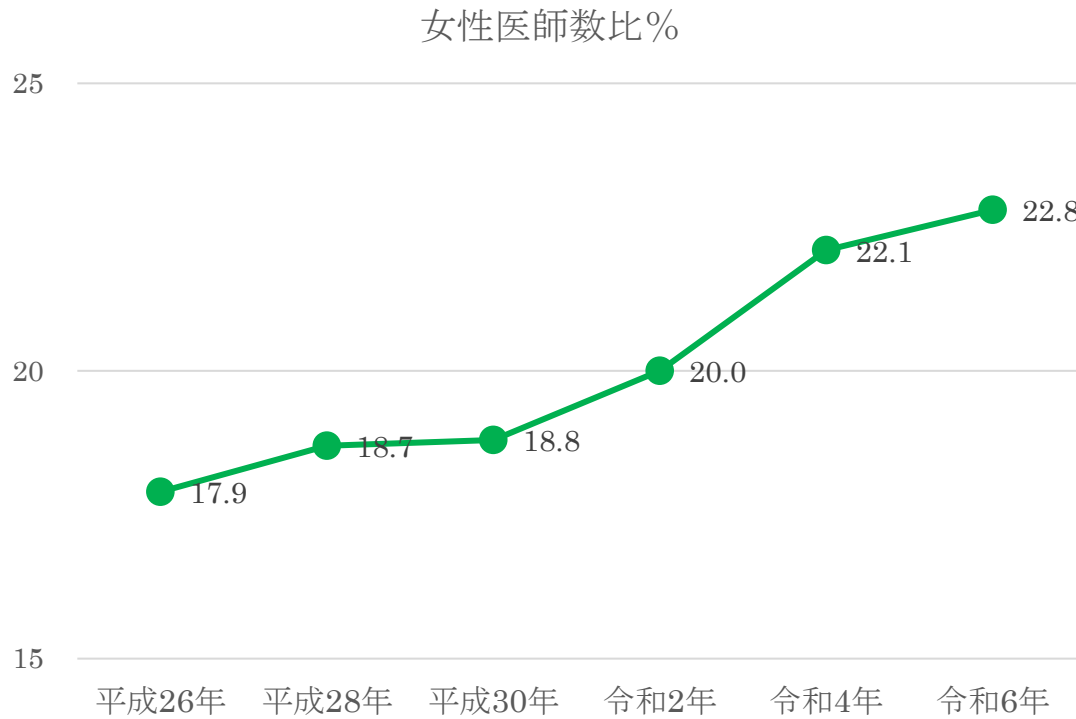
最後になりましたが、今回のアンケート調査にご協力をいただきました日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会と関連する学会の会長・理事長、事務局各位に深く感謝申し上げます。次回の調査におきましても、今回同様のご協力をお願い申し上げるとともに、よりよいダイバーシティ・働き方改革の実現を目指して、本委員会への具体的な提言をお待ちしております。

Ⅱ．調査結果（表内の黄色枠は平均以上を示す）

1. 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会と関連する学会の医師会員数，女性医師比率の推移

学会名	平成26年度			平成28年度			平成30年度			令和2年度			令和4年度			令和6年度		
	医師 総数	女性 医師数	女性比 (%)	医師 総数	女性 医師数	女性比 (%)	医師 総数	女性 医師数	女性比 (%)	医師 総数	女性 医師数	女性比 (%)	医師 総数	女性 医師数	女性比 (%)	医師 総数	女性 医師数	女性比 (%)
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 ¹⁾	10,743	2,387	22.2	10,808	2,467	22.8	10,908	2,554	23.4	11,033	2,631	23.8	11,130	2,747	24.7	11,210	2,826	25.2
日本聴覚医学会	1,694	355	21.0	1,622	361	22.3	1,640	371	22.6	1,547	373	24.1	1,490	362	24.3	1,484	387	26.1
日本めまい平衡医学会	1,470	90	6.1	1,690	343	20.3	1,750	366	20.9	1,778	374	21.0	1,808	400	22.1	1,842	426	23.1
日本耳科学会	2,902	577	19.9	2,840	582	20.5	2,733	567	20.7	2,637	553	21.0	2,517	547	21.7	2,459	573	23.3
日本鼻科学会	1,965	333	16.9	1,939	348	17.9	1,933	344	17.8	1,863	340	18.3	1,873	386	20.6	1,809	374	20.7
日本気管食道科学会	3,132	347	11.1	3,009	365	12.1	2,807	367	13.1	2,626	348	13.3	2,451	332	13.5	2,421	325	13.4
日本頭頸部癌学会（歯科医師を除く）	3,207	371	11.6	2,080	218	10.5	2,121	240	11.3	2,003	328	16.4	2,049	549	26.8	2,170	411	18.9
日本音声言語医学会	522	106	20.3	532	99	18.6	581	117	20.1	547	110	20.1	553	120	21.7	540	125	23.1
日本顔面神経学会	466	55	11.8	494	56	11.3	472	50	10.6	425	47	11.1	451	48	10.6	473	63	13.3
日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会 ²⁾	623	119	19.1	604	108	17.9	634	119	18.8	1,094	198	18.1	1,122	210	18.7	1,016	210	20.7
日本小児耳鼻咽喉科科学会	1,135	305	26.9	1,138	299	26.3				664	191	28.8	737	198	26.9	775	215	27.7
耳鼻咽喉科臨床学会	3,534	800	22.6	4,377	838	19.1	4,355	818	18.8	4,212	827	19.6	4,200	900	21.4	4,200	1,260	30.0
日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会	732	94	12.8	759	113	14.9	764	108	14.1	739	120	16.2						
日本口腔・咽頭科学会	1,357	229	16.9	1,350	237	17.6	1,288	237	18.4	1,182	208	17.6	1,076	202	18.8	1,018	185	18.2
日本喉頭科学会	955	103	10.8	974	103	10.6	1,029	123	12.0	959	127	13.2	963	141	14.6	954	149	15.6
日本頭頸部外科学会	1,801	227	12.6	1,825	236	12.9	1,914	262	13.7	2,034	317	15.6	2,152	346	16.1	2,242	374	16.7
日本嚥下医学会	956	148	15.5	865	127	14.7	899	168	18.7	925	164	17.7	947	354	37.4	990	465	47.0
合計	37,194	6,646	17.9	36,906	6,900	18.7	34,188	6,440	18.8	36,268	7,256	20.0	35,519	7,842	22.1	34,613	7,903	22.8

1) 令和2年まで日本耳鼻咽喉科学会、令和3年から日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会
2) 令和1年まで日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会、令和2年から日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会



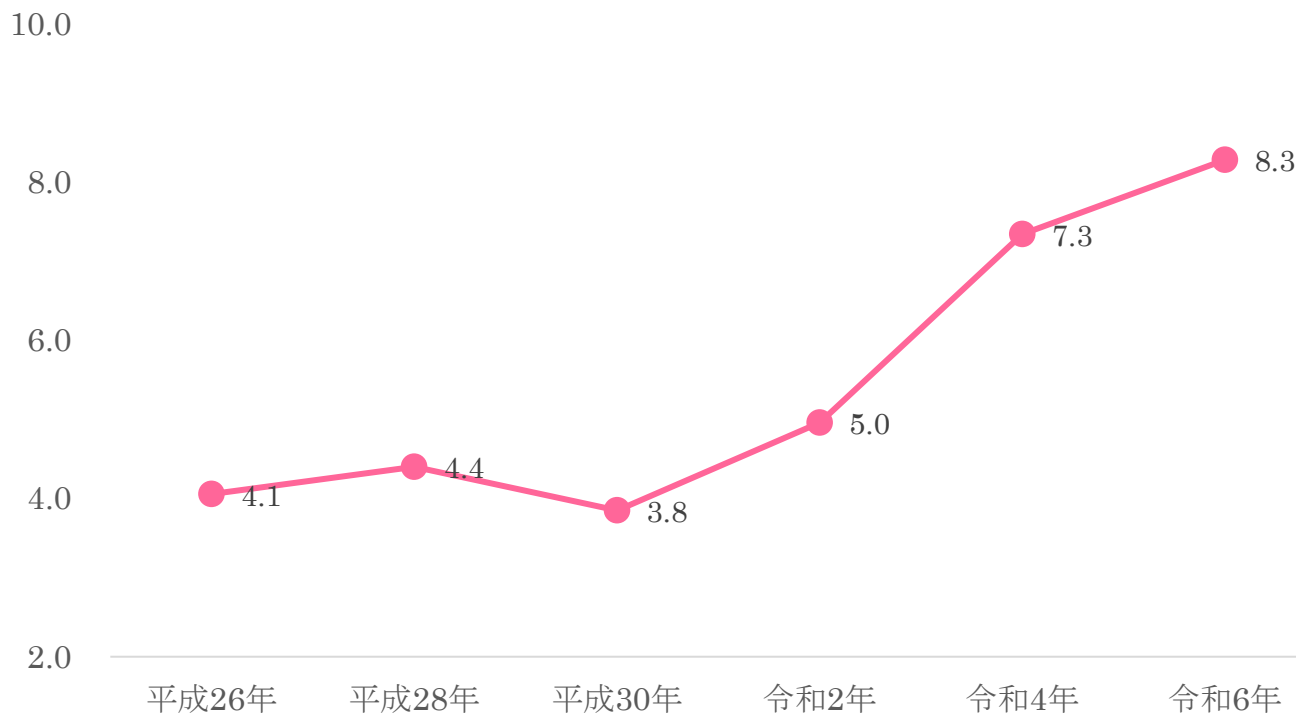
2. 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会と関連する学会における役員数と女性比率

学会名	平成26年度			平成28年度			平成30年度			令和2年度			令和4年度			令和6年度		
	役員 医師数	女性数	女性比 (%)	役員 医師数	女性数	女性比 (%)	役員 医師数	女性数	女性比 (%)	役員 医師数	女性数	女性比 (%)	役員 医師数	女性数	女性比 (%)	役員 医師数	女性数	女性比 (%)
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 ¹⁾	288	10	3.5	293	11	3.8	296	10	3.4	315	15	4.8	318	19	6.0	322	21	6.5
日本聴覚医学会	47	6	12.8	49	6	12.2	59	8	13.6	58	9	15.5	57	9	15.8	46	8	17.4
日本めまい平衡医学会	77	5	6.5	68	6	8.8	72	6	8.3	87	7	8.0	89	11	12.4	80	12	15.0
日本耳科学会	84	6	7.1	84	6	7.1	84	6	7.1	93	7	7.5	91	10	11.0	87	10	11.5
日本鼻科学会	74	2	2.7	77	2	2.6	79	2	2.5	91	3	3.3	75	3	4.0	85	5	5.9
日本気管食道科学会	183	3	1.6	133	7	5.3	177	7	4.0	172	5	2.9	211	9	4.3	155	9	5.8
日本頭頸部癌学会	142	0	0.0	126	0	0.0	184	1	0.5	158	2	1.3	151	9	6.0	183	10	5.5
日本音声言語医学会	51	2	3.9	57	3	5.3	57	3	5.3	68	4	5.9	67	4	6.0	80	5	6.3
日本顔面神経学会	62	0	0.0	78	2	2.6	77	1	1.3	84	1	1.2	90	1	1.1	101	5	5.0
日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会 ²⁾	132	8	6.1	139	7	5.0	124	7	5.6	133	8	6.0	130	10	7.7	128	11	8.6
日本小児耳鼻咽喉科学会	63	15	23.8	91	17	18.7	85	16	18.8	95	19	20.0	105	20	19.0	99	19	19.2
耳鼻咽喉科臨床学会	65	1	1.5	84	1	1.2	81	1	1.2	97	0	0.0	111	1	0.9	107	3	2.8
日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会	79	2	2.5	81	2	2.5	90	0	0.0	107	4	3.7						
日本口腔・咽頭科学会	95	3	3.2	94	1	1.1	83	1	1.2	105	2	1.9	110	9	8.2	111	12	10.8
日本喉頭科学会	105	4	3.8	100	3	3.0	108	3	2.8	102	3	2.9	126	3	2.4	133	10	7.5
日本頭頸部外科学会	109	2	1.8	104	1	1.0	108	2	1.9	115	5	4.3	130	15	11.5	129	11	8.5
日本嚥下医学会	120	3	2.5	137	4	2.9	140	5	3.6	157	7	4.5	115	12	10.4	111	11	9.9
合計	1776	72	4.1	1795	79	4.4	1845	71	3.8	2037	101	5.0	1976	145	7.3	1957	162	8.3

1) 令和2年まで日本耳鼻咽喉科学会、令和3年から日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会

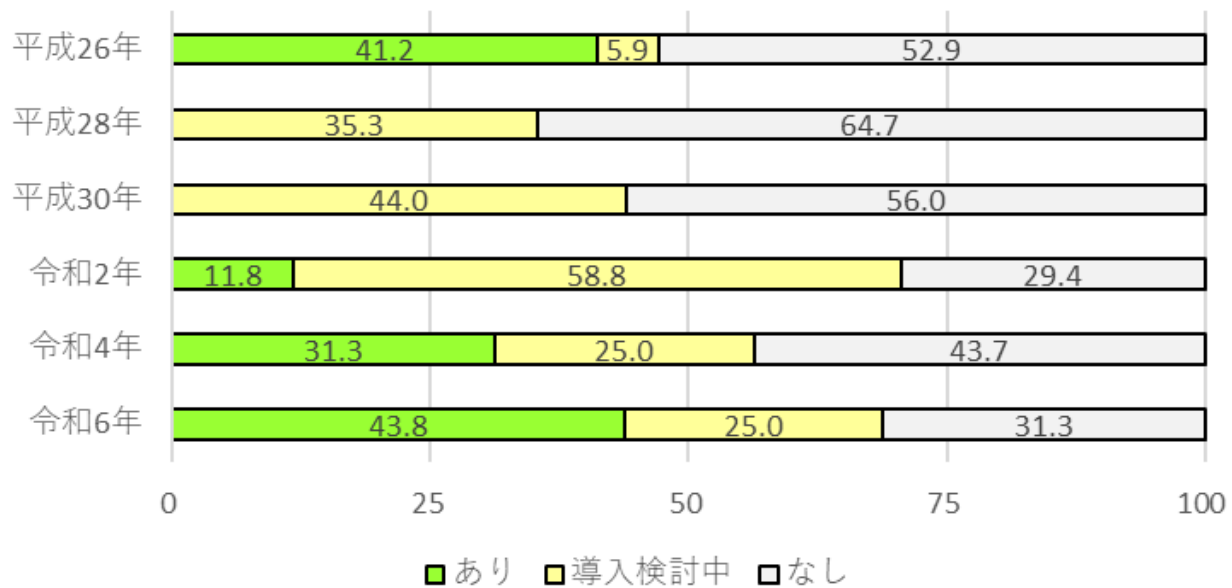
2) 令和1年まで日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会、令和2年から日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会

役員中女性比%



3. 役員選出に関する、クォーター制（割当制）等の女性医師登用へのポジティブアクションの有無

ポジティブアクション（％）



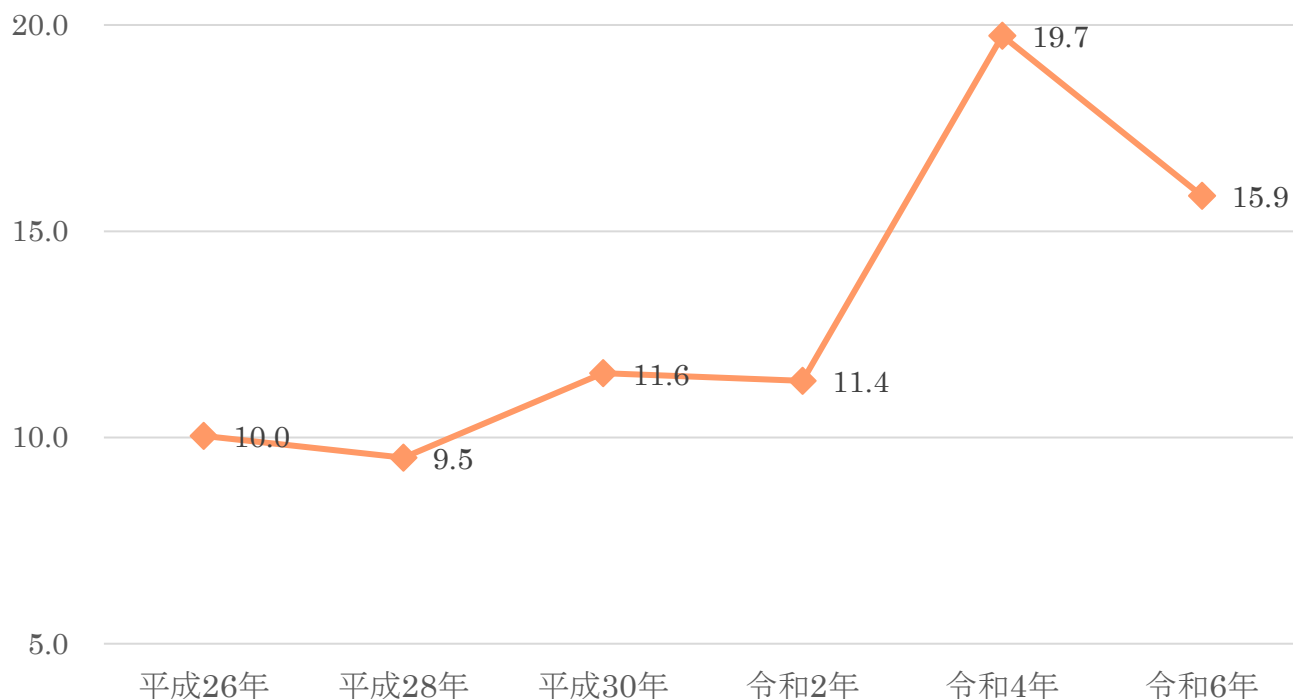
4. 学会総会・学術集会における女性登用の推移～指定演者

学会	平成26年度			平成28年度			平成30年度			令和2年度			令和4年度			令和6年度		
	指定 演者数	女性数	女性比 (%)	指定 演者数	女性数	女性比 (%)	指定 演者数	女性数	女性比 (%)	指定 演者数	女性数	女性比 (%)	指定 演者数	女性数	女性比 (%)	指定 演者数	女性数	女性比 (%)
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 ¹⁾	29	3	10.3	12	2	16.7	33	6	18.2	59	7	11.9	58	12	20.7	67	7	10.4
日本聴覚医学会	3	0	0.0	8	3	37.5	11	5	45.5	4	1	25.0	5	3	60.0	6	3	50.0
日本めまい平衡医学会	29	2	6.9	40	3	7.5	8	1	12.5	22	3	13.6	19	3	15.8	13	1	7.7
日本耳科学会	44	2	4.5	52	1	1.9	26	1	3.8	57	6	10.5	17	0	0.0	37	10	27.0
日本鼻科学会	36	5	13.9	43	5	11.6	22	2	9.1	73	10	13.7	46	12	26.1	36	10	27.8
日本気管食道科学会	114	7	6.1	29	2	6.9	111	8	7.2				54	12	22.2	33	3	9.1
日本頭頸部癌学会	58	3	5.2	35	3	8.6	39	2	5.1	47	1	2.1	61	11	18.0	58	3	5.2
日本音声言語医学会	23	10	43.5	10	1	10.0	8	0	0.0	15	2	13.3	5	2	40.0	4	1	25.0
日本顔面神経学会	15	4	26.7	23	3	13.0	32	3	9.4	22	1	4.5	48	2	4.2	19	1	5.3
日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会 ²⁾	17	1	5.9	3	0	0.0	9	2	22.2				7	2	28.6	31	8	25.8
日本小児耳鼻咽喉科学会	12	1	8.3	8	0	0.0	11	3	27.3	16	5	31.3	12	4	33.3	11	4	36.4
耳鼻咽喉科臨床学会	17	1	5.9	10	0	0.0	15	5	33.3	22	3	13.6	9	1	11.1	9	3	33.3
日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会	11	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	20	0	0.0						
日本口腔・咽頭科学会	47	6	12.8	33	1	3.0	27	0	0.0	31	5	16.1	51	15	29.4	31	6	19.4
日本喉頭科学会	19	2	10.5	17	4	23.5	20	4	20.0	11	4	36.4	12	1	8.3	18	0	0.0
日本頭頸部外科学会	35	1	2.9	16	5	31.3	8	0	0.0	23	0	0.0	27	2	7.4	28	0	0.0
日本嚥下医学会	19	5	26.3	8	0	0.0	18	4	22.2	0	0	0.0	25	8	32.0	33	9	27.3
合計	528	53	10.0	347	33	9.5	398	46	11.6	422	48	11.4	456	90	19.7	434	69	15.9

1) 令和2年まで日本耳鼻咽喉科学会、令和3年から日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会

2) 令和1年まで日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会、令和2年から日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会

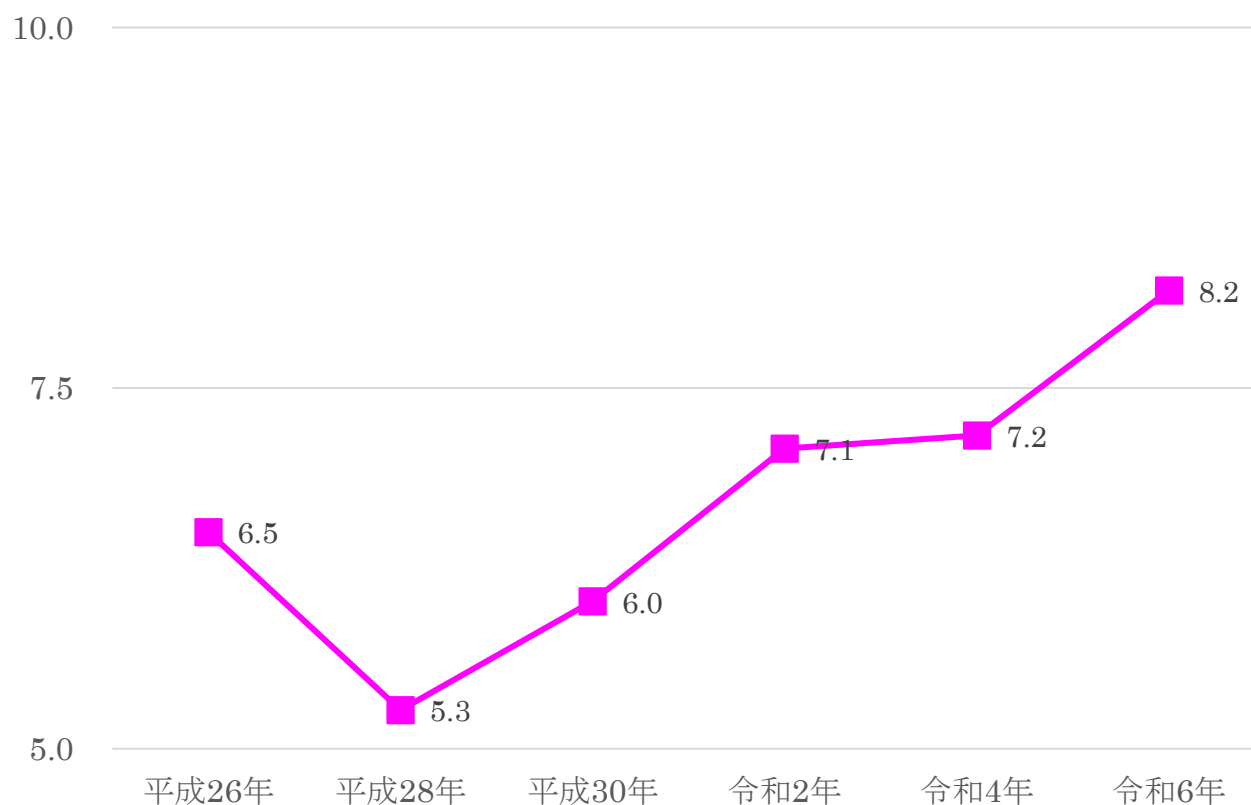
女性医師指名演者比%



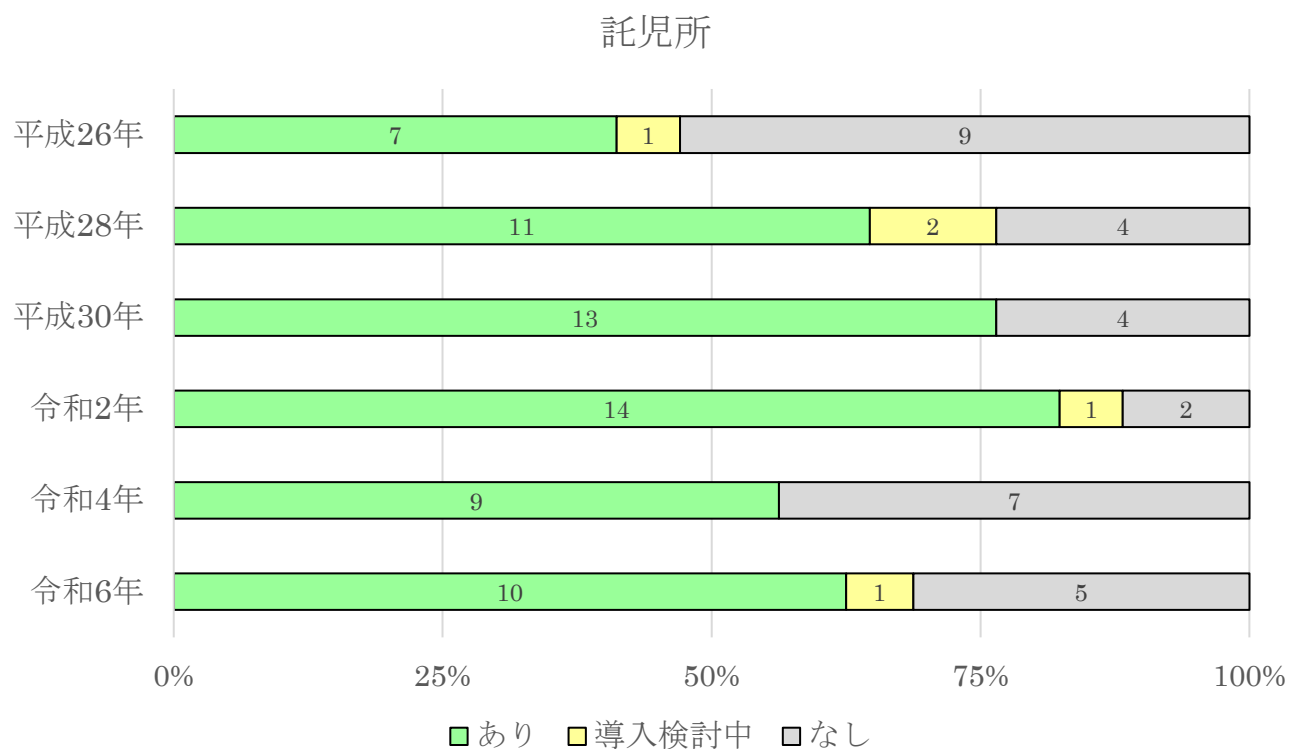
5. 学術総会・学術集会における女性登用の推移～座長

学会	平成26年度			平成28年度			平成30年度			令和2年度			令和4年度			令和6年度		
	総数	女性	女性比(%)	総数	女性	女性比(%)	総数	女性	女性比(%)	総数	女性	女性比(%)	総数	女性	女性比(%)	総数	女性	女性比(%)
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 ¹⁾	153	7	4.6	154	7	4.5	130	4	3.1	132	7	5.3	134	10	7.5	104	6	5.8
日本聴覚医学会	43	5	11.6	39	7	17.9	45	8	17.8	39	9	23.1	51	9	17.6	51	8	15.7
日本めまい平衡医学会	37	2	5.4	49	6	12.2	54	4	7.4	56	7	12.5	20	4	20.0	61	6	9.8
日本耳科学会	120	6	5.0	64	2	3.1	119	13	10.9	103	12	11.7	150	10	6.7	119	17	14.3
日本鼻科学会	51	3	5.9	107	5	4.7	58	1	1.7	77	2	2.6	172	10	5.8	84	5	6.0
日本気管食道科学会	70	4	5.7	51	3	5.9	95	3	3.2				90	4	4.4	77	3	3.9
日本頭頸部癌学会	70	1	1.4	53	0	0.0	72	0	0.0	19	0	0.0	35	1	2.9	35	1	2.9
日本音声言語医学会	82	22	26.8	13	0	0.0	47	11	23.4	17	0	0.0	22	0	0.0	27	3	11.1
日本顔面神経学会	26	0	0.0	37	1	2.7	35	0	0.0	16	0	0.0	40	1	2.5	23	0	0.0
日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会 ²⁾	16	2	12.5	32	5	15.6	35	1	2.9				80	7	8.8	14	1	7.1
日本小児耳鼻咽喉科学会	35	7	20.0	49	9	18.4	36	6	16.7	23	5	21.7	66	9	13.6	59	11	18.6
耳鼻咽喉科臨床学会	97	1	1.0	118	2	1.7	96	4	4.2	93	4	4.3	83	3	3.6	88	4	4.5
日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会	45	1	2.2	32	1	3.1	42	2	4.8	4	0	0.0						
日本口腔・咽頭科学会	40	2	5.0	67	2	3.0	60	4	6.7	39	2	5.1	54	4	7.4	44	4	9.1
日本喉頭科学会	69	1	1.4	47	1	2.1	66	5	7.6	28	1	3.6	50	3	6.0	82	4	4.9
日本頭頸部外科学会	112	4	3.6	112	2	1.8	98	1	1.0	152	5	3.3	132	10	7.6	84	5	6.0
日本嚥下医学会	26	3	11.5	39	3	7.7	41	1	2.4	7	3	42.9	20	1	5.0	14	1	7.1
合計	1092	71	6.5	1063	56	5.3	1129	68	6.0	805	57	7.1	1199	86	7.2	966	79	8.2

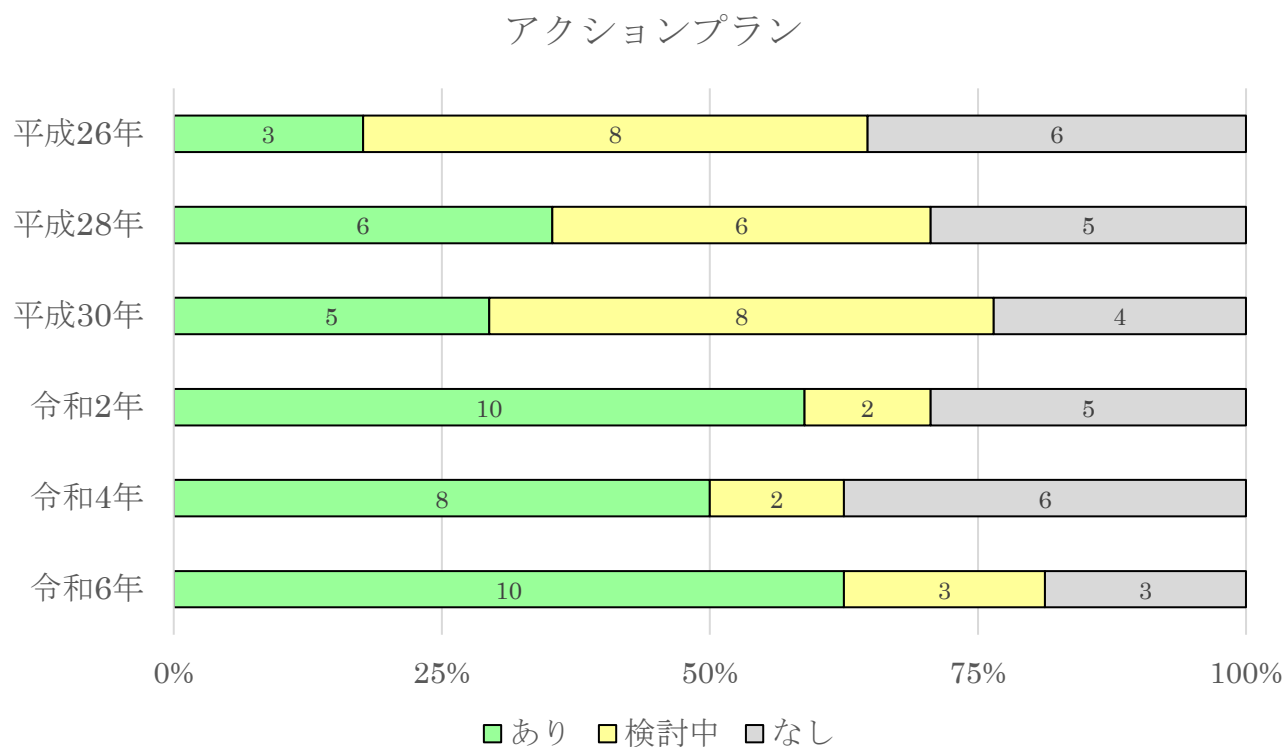
女性座長比%



6. 学会総会・学術集会における託児所設置の有無

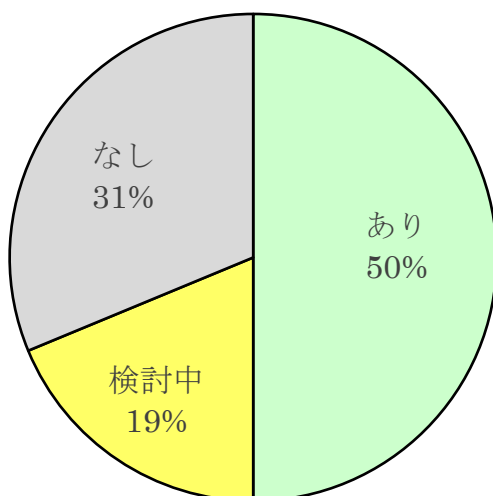


7. 女性医師支援や男女共同参画推進に関する内部組織やアクションプラン



8. ダイバーシティに関する工夫（令和6年度新規質問事項）

ダイバーシティに関する工夫

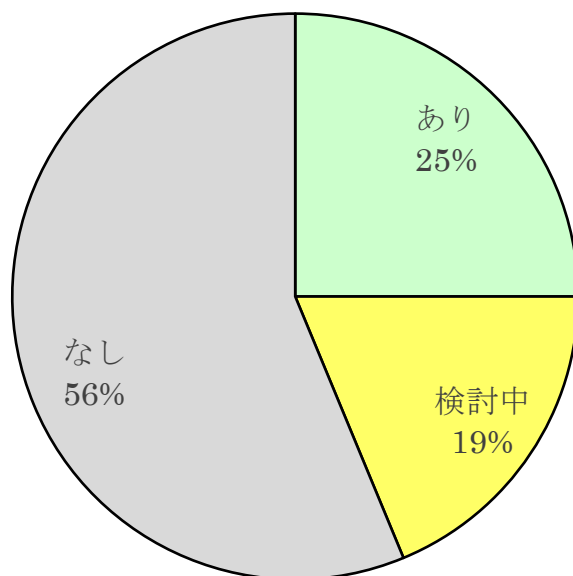


【回答例一部抜粋】

- ・ ダイバーシティ委員会の設置
- ・ 入会時、性別の選択肢に「登録しない」を用意
- ・ 学術講演会におけるダイバーシティ推進シンポジウム・セミナー・セッションの企画
- ・ 学会総会・学術講演会における女性座長の数を増やす
- ・ 若手女性医師対象のアンケートや座談会を実施
- ・ 評議員に活躍している女性医師を推薦し、女性医師のモチベーション向上を画策
- ・ 「輝く耳鼻咽喉科頭頸部外科女性賞」「子育て支援賞」の表彰
- ・ 多彩なキャリアの医師の講演の企画
- ・ 各学会や医局の男女共同参画の取りくみを確認・公表 等

9. 働き方改革に関する工夫（令和6年度新規質問事項）

働き方改革の工夫

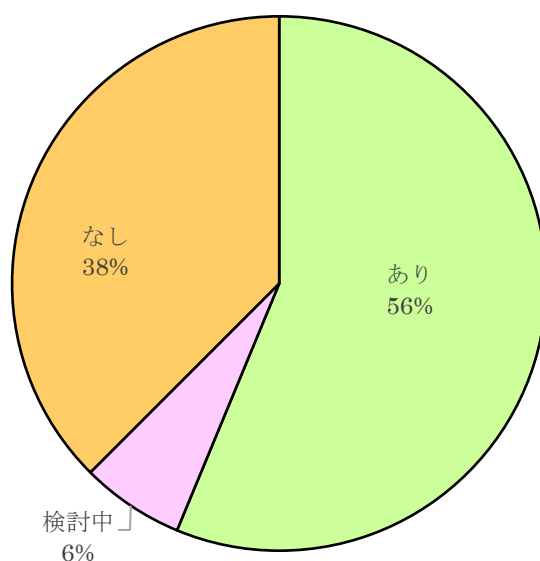


【回答例一部抜粋】

- ・ 働き方に関するアンケート調査の実施。
- ・ 休日および夜間の会議開催を回避
- ・ 学会で働き方改革についての企画をおこない会報誌などにも掲載している。
- ・ 委員会に若手医師を加え、より新鮮な意見を聞くことができるようになった。
- ・ 委員会の活動をしやすい（働きやすい）環境の整備。
- ・ 座談会、セミナーの企画、成果物の配布をおこなっている。 等

10. 学会専門資格について（令和6年度新規質問事項）

学会専門資格



学会名	専門資格名称	総人数	女性人数	女性(%)
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会	耳鼻咽喉科専門医	8,856	2,161	24.4
	補聴器相談医	5,285	1,352	25.6
日本めまい平衡医学会	めまい相談医	870	213	24.5
日本耳科学会	耳科手術指導医	199	10	5.0
	耳管ピン手術実施医	61	6	9.8
	耳科学会認定医	338	44	13.0
日本鼻科学会	鼻科手術指導医（暫定指導医）	132	3	2.3
日本気管食道科学会	日本気管食道科学会認定気管食道科専門医	1,079	115	10.7
日本音声言語医学会	音声言語認定医/音声言語認定士（ST含む）	194	68	35.1
日本顔面神経学会	日本顔面神経学会認定顔面神経麻痺相談医	95	10	10.5
日本頭頸部外科学会	頭頸部がん専門医	536	27	5.0
日本嚥下医学会	嚥下相談医制度	305	42	13.8
計		17,950	4,051	22.6

III.依頼文とアンケート内容

令和6年12月4日

日耳鼻・関連する学会

理事長 殿

一般社団法人 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会

理事長 大森 孝一

ダイバーシティ・働き方改革委員会

担当理事 松浦 一登

委員長 森田 由香

「ダイバーシティ・男女共同参画」に関するアンケート調査へのご協力をお願い

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会では、令和6年度より、男女共同参画委員会を「ダイバーシティ・働き方改革委員会」と改称し、性別を含めた多様性の理解・働きやすい仕組みを目指した活動を継続することとなりました。これまでの委員会活動のひとつとして、平成26年より2年ごとに関連する学会への男女共同参画・ダイバーシティ推進に関する取り組みを調査し、公表してまいりました。その結果、多くの学会では、女性会員比率に比較して女性医師の指導的地位への参画は未だ十分ではないという状況が判明しています。日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会の10年間の新入会員に占める女性医師の割合は30%前後で推移しており、ダイバーシティ推進は耳鼻咽喉科医療水準の維持のために、耳鼻咽喉科医全体として取り組むべき課題であると考えます。

そこで2年の月日を経て、日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会の関連する学会に前回同様の「ダイバーシティ・男女共同参画」に関するアンケートへのご協力をお願いし、各学会における現状を調査することになりました。本調査結果は、日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総会・学術講演会で発表し、ダイバーシティ・働き方改革委員会ホームページで公開するほか、本委員会でのアクションプラン作成の参考とさせていただきます。

ご多忙の折、誠に申し訳ございませんが、令和6年12月25日（水）までにアンケートにご回答ください。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

連絡先：日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会事務局

ダイバーシティ・働き方改革委員会 事務担当 浅野妙子

〒108-0074 東京都港区高輪 3-25-22

TEL: 03-3443-3085 FAX: 03-3443-3037

Email: fukushi@jibika.or.jp

「ダイバーシティ・男女共同参画」に関するアンケートR6

※数字は半角でご入力ください。

* 必須の質問です

1。 貴学会名 *

2。 1. 貴学会員の学会員数をお答えください。 *

3。 学会員のうち、医師数をお答えください。 *

4。 学会員のうち、女性医師数をお答えください。 *

5。 2.貴学会の理事長の性別をお答えください。 *

1 つだけマークしてください。

☐ 男性

☐ 女性

6。 貴学会の理事の人数をお答えください。 *

7。 理事のうち、女性の人数をお答えください。 *

8。 理事のうち、医師数をお答えください。 *

9。 理事のうち、女性医師数をお答えください。 *

10。 貴学会の 評議員（代議員） の人数をお答えください。 *

11。 評議員（代議員） のうち、女性の人数をお答えください。 *

12。 評議員（代議員） のうち、医師数をお答えください。 *

13。 評議員（代議員） のうち、女性医師数をお答えください。 *

14。 3. 貴学会の役員、評議員（代議員）選出に関して、クォーター制（割当制）等、女性医師登用へのポジティブアクションはありますか。 *

1 つだけマークしてください。

☐ 有り

☐ 導入予定または検討中

☐ 無し

15. 「有り」とお答えいただいた場合、内容をお答えください。(例：女性理事枠
〇名など)

16. 「無し」とお答えいただいた場合、理由を教えてください。

17. 4. 本年度の貴学会総会・学術講演会におけるシンポジストの医師人数をお
答えください。 *

18. シンポジストのうち、女性医師数をお答えください。 *

19. 本年度の貴学会総会・学術講演会における パネリストの医師人数をお答え
ください。 *

20. パネリストのうち、女性医師数をお答えください。 *

- 21。 本年度の貴学会総会・学術講演会における座長の医師人数をお答えください。 *

- 22。 座長のうち、女性医師数をお答えください。 *

- 23。 5. 学会総会・学術講演会等に託児所を設置したことはありますか。 *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 有り
☐ 設置予定または検討中
☐ 無し

- 24。 6. 貴学会内に女性医師支援や男女共同参画推進に関する内部組織やアクションプランはありますか。 *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 有り
☐ 検討中
☐ 無し

- 25。 7. 貴学会でダイバーシティ（性別や価値観などの多様性の共存）に関して *

試されている工夫はありますか。

- 1 つだけマークしてください。
☐ 有り
☐ 導入中または検討中
☐ 無し

26. 「有り」「導入中または検討中」とお答えいただいた場合、内容をお答えください。

27. 8. 貴学会で働き方改革に関して試されている工夫はありますか。 *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 有り
☐ 導入中または検討中
☐ 無し

28. 「有り」「導入中または検討中」とお答えいただいた場合、内容をお答えください。

29. 9. 貴学会には専門資格がありますか。(例：耳鼻咽喉科専門医、補聴器相談医、騒音性難聴担当医、耳科手術指導医、鼻科手術指導医、頭頸部がん専門医など) *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 有り
☐ 導入中または検討中
☐ 無し

30. 「有り」とお答えいただいた場合、①専門資格の名称、②資格取得者の総人数、③資格取得者内の女性の人数 について教えてください。各資格毎にお答えいただけますようお願い致します。

31. ご協力ありがとうございました。以上でアンケートは終了です。日耳鼻ダイバーシティ・働き方改革委員会へのご意見やご要望等がございましたらご入力をお願い申し上げます。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム